

三年ぶりの「生きがいと健康づくり振興大会」

友愛コーラス同好会が特別賞

市高連主催の令和4年度「生きがいと健康づくり振興大会」が12月14日、多賀市民会館2階ホールで開催されました。

この大会は『高齢者クラブ会員の健康維持と、生きがいのある生活を支援するため、手作りの芸能発表を行い、参加者相互の親睦を図る』ことを目的としております。

新型コロナウイルス感染症の影響で、3年ぶりの大会でしたが、感染対策で、参加人数を減少しての実施となりました。

演目は①踊り(日本舞踊、民舞)②カラオケ ③リズム体操 ④合唱 ⑤カラオケ⑥落語等、多岐にわたり、今回は11学区から20件の演目が発表されました。

その中で大沼学区からは、「友愛コーラス同好会」がトップで登場し、車容子女史の指揮と久保田啓子女史のピアノ演奏で「証城寺の狸囃子」「四季の歌」「ペチカ」「ドレミの歌」「Believe」5曲を合唱し会場を盛り上げました。

また、^{しんがり}殿の20番目に大海会々員10名が、色々な「祭りの法被」を羽織って『踊りの輪』を披露し、主催者からの3度目の特別賞を受賞した「友愛コーラス同好会」と共に、大沼学区高連の知名度を高めたと思われます。(広報担当:上島慶四郎)



熱唱5曲!! 練習の成果を 披露の友愛コーラス同好会



色々な 祭りの法被で「踊りの輪」熱演